

第15回網張ジュニアアルペンスキー大会 監督会議資料

1. 会場・コース・種目

網張温泉スキー場、ミズナラスロープ、GS・SLコンビ種目、1-4組1本、5-8組2本レースとする。

2. 計時の方法

アルゲ8001の電気時計を使用する。

3. ビブ配布

3/12はTCミーティング受付時、3/13はスキーセンターにて6:45~7:45まで。以降フィニッシュにて。

※ 1組~4組は赤色ゼッケン、5~8組は黒色ゼッケンを使用する。

4. リフト券販売、運航時間

当日、7:00~スキーセンターチケット売り場で販売する。小学生1,000円、中学生2,000円。

競技役員は7:00から、**選手5組~8組は7:15から優先乗車可能。**

5. アップバーン

特に設けません。各自コーチの指示により怪我のないようフリー滑走にて行うこと。

6. スタート順、スタート方法（タイムテーブル参照）

S1・S2とも組順のスタートとし、2本レースの5~8組から先に競技開始する。

スタートは、スタート合図員の「レディー・ゴー」の合図により10秒以内にスタートすること。

インターバルは約30秒間隔とする。ジュリーの判断によりインターバルをあける場合もある。

7. ポールセット

SLセットは可倒式ポール、GSセットはフラグのついた可倒式ポール、状況によりショートポールを混在させる。また基本的にオープンゲート・ヘアピン・ストレートゲートはシングルポールとし、ディレイドターンのみダブルポールとする。ジャンプやウェーブゾーンについては、状況によりダブルポールとする場合がある。またブルーラインにてコースマキнгを行う場合もある。

※ スキーについては、SL用か短めのGS用の板、またSL用のプロテクター類の着用を推奨します。

8. コースインスペクション時間、方法（タイムテーブル参照）

ゼッケンを着用の上、上からデラパーージュで行うこと。30分間（入場制限なし）

9. コース整備

随時行い、コース状況によりレースを中断する場合がある。状況によりスノーセメントを使用する。

10. 途中棄権

途中棄権者は、近くの競技役員にはっきりと意思表示を行い、コース脇をゆっくり移動すること。

11. スイッチバック

大会数の少ないコンビ競技でもあり、ゴールする意思がある場合は認める。ただし、危険と判断される場合や時間が掛かり過ぎる場合は競技役員判断で中止させる場合がある。

※ スイッチバックは「シングルポールスラローム競技」のルールを採用する。

12. ゼッケン回収

レース終了後は必ずフィニッシュエリアの回収袋に返却すること。また、あらかじめ棄権する場合は競技開始前にフィニッシュハウスに報告の上返却すること。途中棄権者のゼッケン回収にも注意すること。

13. 成績表、表彰式

仮発表タイムは、放送及びゴールエリアに掲示する。公式成績表はNPO雫石町スキー連盟のHPに当日午後3時までに掲示する。

表彰式は、8組の競技終了20分後をめぐりにスキーセンター前（外）にて行う。

各組1位~6位までの選手は遅れないように集合すること。

14. その他の注意（補足）

- 1 スタート位置における点呼は10分前に行ないます。（スタートに遅刻した場合は失格）
また、スタート地点までの移動に注意してください。特に低学年（S1スタート）
- 2 スタート順番については、棄権者がある場合は繰り上げスタートするため、自分のスタート時間が早まる可能性があり得ますので十分注意してください。
- 3 スタートエリア、フィニッシュハウス内には監督、コーチの立ち入りを禁じます。
- 4 クラッシュヘルメットを必ず着用してください。ネックウォーマーの上からのあごひも不可。
- 5 サポーターについて、コース係の指示に従いコース整備を兼ねて降りてください。
- 6 フィニッシュエリア内では、一旦停止後スキーを脱がないですぐにエリア外に出てください。
- 7 競技時間を変更する場合、場内放送、館内放送等で随時連絡するのでご注意ください。
- 8 当日は一般営業もありますので、スキーセンター食堂内への荷物の放置、荷物を使つての席取りはご遠慮ください。ブーツに履き替えた後は、各自の車へ荷物を移動して下さい。また、スタート・フィニッシュ地点へのごみの投げ捨てや、スピードを出してのアップ等、一般のお客様の迷惑になるような行為をしないよう注意願います。
- 9 大会のスムーズな運営に関係各位の御協力を御願い申し上げます。

SL/GSコンビ競技について（ルールブック抜粋）

- ◎ チルドレンにおけるコンビは、国際的にも認知された連続する混合されたターンと旗門によって構成される種目である。各年齢グループに合わせ、その育成過程の必要要素、「流れるような」、または「リズムカルに」、そして「常に変化をもたらす」よう調合して創造する。
- ◎ SL/GS形式（技術系）セットはマーキングポール等、SL旗門、GS旗門、又はラインマーキングを使用する。
- ◎ SL/GS形式にはスラロームスキーの使用を推奨する。
- ◎ コースの性格と推奨事項
 - 最小方向転換数は30ターンとする。
 - 5つ以上の異なったセクションの推奨
 - スラロームスキーの推奨
 - コースは、様々なゲートセクション間のスムーズな移行を可能とするだけでなく、絶え間なく変わるリズムと半径に反応と適応する選手の能力を試すべきである。
 - 競技コースの建造はオプション、しかし、コースに十分な要素がある場合はその限りではない。コースの特性と想像力を活用する。
 - ジャンプを1箇所以上含む
 - 急激な減速やブレーキングを要する旗門はセットしない。
 - スロープ全体とコースの自然な流れを活用し、フォールラインを頻繁に交差する流れをもたせる。